

## 教育実践研究科 2025 年度 4 月生入試 過去問と評価基準

## 【小論文試験】

アドミッション・ポリシーに関する問題、教育実践に関する問題のどちらかを選択し、回答する

## ◆過去問（2025 年 3 月実施）

## 【問題（アドミッション・ポリシー）】

星槎大学大学院教育実践研究科は、アドミッション・ポリシーにおいて「本研究科で養成する人材は、学校教員、専門学校等の職業人材養成機関の教員として、教育の諸課題を適確に理解して対応でき、また学習者の特性を理解したうえでの指導ができる人材です」としています。

この中で「教育の諸課題」と「学習者の特性」についてあなたの職務経験をふまえて次の 2 点について具体的に述べてください。文字数は(1)(2)合わせて 1,600 字～2,000 字とします。引用文献等があれば付記してください。文献は字数には含めません。

(1)あなたが所属する機関等における現在の「教育的な課題」とは何ですか。具体的に説明してください。

(2)(1)であげた「教育的課題」にはどのような「学習者の特性」が関係してくると思いますか。また、その「学習者の特性」を踏まえどのような指導が求められると考えますか。具体的に述べてください。

※必ず上記の (1) (2) の両方について述べてください。

## 【問題（教育実践）】

不登校について、文部科学省は令和 5 年に C O C O L O プランを発表し、だれ一人取り残されない、学びの保証に向けた不登校対策を発表しています。また、不登校について、「不安など情緒的混乱」型、「無気力」型、「学校生活上の影響」型、「あそび・非行」型、「意図的な拒否」型、「複合」型の 6 つに分類しています。

以上の不登校類型の中から 1 つを選び、C O C O L O プランと関連付けながら、①その背景を分析し、②個人と組織における可能な支援について、あなたの考えを 2000 字以内に述べなさい。

以下の 4 つの観点について 4 段階で評価する。

観点Ⅰ：出題意図の把握

観点Ⅱ：知識・理解

観点Ⅲ：自身の考え方の提示

観点Ⅳ：論述能力

### 【面接試験】

以下の観点について4段階で評価する。

観点Ⅰ：アドミッション・ポリシー1つ目（AP1）

「継続的な学修を行い、教育に関連する専門職として職務を遂行するための心身の自己管理能力を有する者であること」

観点Ⅱ：アドミッション・ポリシー2つ目（AP2）

「修了後に、教育の専門職者として活動するために求められる知識や技能等を修得することに対する明確な目的意識を有している者であること」

観点Ⅲ：アドミッション・ポリシー3つ目（AP3）

「教育に関わり生涯にわたり自己研鑽を積む意欲を持つ者であること」

観点Ⅳ：書類の総合評価

- ・明確な志望動機があること（様式2）
- ・活動実績が示されていること（様式3）
- ・研究計画と将来展望が明確であること（様式4）

### 【合否判定】

小論文試験と面接試験の評価に基づき、総合的に判断する。